

話題がいっぱい /
なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



10/25 しまくとぅばオーケストラ in 当山小学校

琉球芸能とのコラボレーションやしまくとぅば公演など、県内で積極的に公演を行っている「琉球交響楽団」が、しまくとぅばの普及促進を図ることを目的に、うちなー音楽としまくとぅばによる語りを組み合わせた『しまくとぅばオーケストラ』を当山小学校で行いました。それぞれの楽器を演奏しながら楽器の紹介をした後、沖縄の曲をアンサンブルで奏で、演奏に合わせて手拍子をするなど、会場全体が賑わいを見せていました。沖縄版「桃太郎」では、沖縄風にアレンジした展開に合わせた演出や演奏に生徒らは夢中になり、6年2組の比嘉希美さんは「しまくとぅばだけではなく、演奏で使う楽器の勉強もできた。その中でも、チェロに興味を持ったので、もっと詳しく知りたい」と話し、沖縄の文化や音楽を学ぶ良い機会になりました。



11/2 まなびフェスタ2024開催

市民協働のまちづくりや、生涯学習に関する日々の活動の成果を発表する「市民協働とまなびのフェスタ浦添2024」が、ハーモニーセンターで開催されました。

オープニングセレモニーでは、市民活動団体によるミニコンサートが披露された後、放課後子ども教室の空手演武や琉球箏曲などの成果発表がありました。

他にも、市民活動団体によるパネル展やお茶会体験、アロマ体操などのミニ講座・体験ワークショップ、学童保育まつりが開催され、来館者からは「さまざまな学びを得られる時間が過ごせてよかったです」との感想が寄せられました。



10/15 恒久平和を願い、祈りを捧げる

第78回浦添市戦没者追悼式が浦添城跡内にある浦和の塔前で行われました。式典には遺族会をはじめ、市議会や自治会、市内の中学生10人で構成されるピースメッセンジャーなど多くの人々が参加しました。

市遺族会会長の宮城實さんは「二度とあのような悲惨な戦争による遺族を出さぬよう活動を継承していきたい」と述べ、県遺族連合会会長の我部政寿さんは「戦後生まれが国民の約9割を占める今日、戦争の歴史的事実を正しく伝えることは、生き残った遺族の責務である」と強い想いを語りました。また、「平和のために」と題して、ピースメッセンジャーによる詩の朗読も行われ、参加者全員で先の大戦で犠牲となった人々への追悼と、恒久平和を祈念しました。



10/24~26 消防力向上のため国際大会に出場

台湾の台南市で行われた救助技術を競う大会、「橋2024」に市の職員を集った消防本部の自主研究グループのメンバーが出場しました。この大会は救助技術の向上を目的とし、救助する速さや安全性を競う大会で、今回が第10回大会となります。

大会に向け休日を利用して訓練を重ね、資器材は台湾桃園市出身の元消防団長である黄春源さん（浦添在）から貸与を受け、技術の研鑽に励みました。日本や台湾等の国や地域から24組が出場し、当グループは9位となりました。閉会式では、グループを代表し新里大輔士長が「大会を通じた人材育成をすることで、市の消防力向上に努めたい」と話しました。



11/9 延伸5周年スタンプラリー抽選会開催!

沖縄都市モノレールが浦添市に延伸・開業して今年で5周年を迎えました。これを記念して、NPO法人沖縄県都市モノレール延伸・利用促進協議会、沖縄都市モノレール株式会社のご協力のもと、10月から駅めぐりスタンプラリーイベントがスタートし、集めたスタンプで参加できる抽選会がゆいレールまつり会場内（てだこ浦西駅交通広場）で開催されました。

抽選会当日はあいにくの雨模様でしたが、子どもから大人まで150人以上が参加し、中には抽選会参加のために初めてゆいレールに乗ったという人もおり、イベントは終始雨に負けないほど大盛況となりました。



10/12 第5回マチナトがんじゅうフェア開催!

「子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も共に暮らしやすい“がんじゅう”な地域づくりを目指して」をコンセプトに、コープ牧港で第5回マチナトがんじゅうフェアが開催されました。このイベントは、浦添市社協CSW（コミュニティソーシャルワーカー）、障がい福祉複合施設ピラルうらそえ、相談支援事業所ゆんたく、地域包括支援センターみなとん、コープおきなわの5機関が実行委員会を協同で立ち上げ、毎年開催しています。

松本市長参加の開会式から始まり、車いすやアイマスクの福祉体験、血圧測定や鍼灸体験などの健康チェック、ちびっこ遊びのブースに加え、琉舞などの催し物もあり、たくさんの方の笑顔あふれるフェアとなりました。



ゆいレールまつりにゅびーも来たよ!♡



10/6 映画「沖縄カミングアウト物語」上映会

「浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」施行3周年に合わせ、性の多様性への理解を深めることを目的に、映画「沖縄カミングアウト物語」の上映会を開催しました。

主人公のかつきママが抱えた悩みや、家族と「今が一番仲がいい」という現在に至るまでを振り返り、友人との思い出やカミングアウトした際の心境を赤裸々に語る内容に、笑い、涙する場面もありました。

上映後に行われた松岡弘明監督やかつきママを交えたアフタートークで、松岡監督は「かつきママの物語を通じて、大切な人と対話するきっかけになると嬉しい」と、映画に込めた想いを伝えました。